

## 新聞紙を用いた造形活動について(Ⅲ)

井戸 裕子  
(東京家政大学)

## はじめに

本研究は、日本保育学会第52回大会にて、発表した研究の継続研究である。

- 新・幼稚園教育要領の領域「表現」のゆかりに、
- ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
  - ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。
- という項目が示されている。

保育者をめぐる学生達が、新聞紙を用いた造形活動を体験することにより、幼児と楽しむ表現を実施、援助する時、幼児の主体性を生かせるように考えた。

## 1. 目的

第52回大会では、学生の新聞紙を用いた造形活動の結果、立体表現、半立体表現、平面表現の3形態に分類し、何と表現したかの検討を行った。

今回は、表現されたものと学生が使用した全26技法を3形態に分類し、立体表現、半立体表現、平面表現のどの形態の表現がみられるのであろうか。

造形技法を知ることで、学生の表現活動に影響をあたえるのであろうか、考慮を行う。

## 2. 方法

## 〈実施方法〉

- ・材料は、新聞紙全紙大1枚、白ハツ切画用紙1枚を学生一人一人に配布する。
- ・画用紙に、組、出席番号、氏名を記入させる。
- ・『今日は、新聞紙で遊ぼう』と、ことばをかける。
- ・新聞紙と扱う技法は、すべて学生の自由にまかせる。
- ・学生からの要求があった場合、その時点で、のりや、セロファンテープを出す。
- ・活動の終りに、何と表現したか、画用紙に記録させる。

★1999年は、「学生が示した技法について」のプリントを配布

## 〈実施対象〉

東京家政大学児童学科児童学専攻1年生

## 〈調査実施日〉

- (1) 1997年6月27日
- (2) 1998年4月17日
- (3) 1999年4月23日

## 3. 結果および考察

- (1) 学生が使用した26技法を3つの形態に分類し、まとめた結果は、表-Iに示す通りである。

表-I

表現形態	表現技法
立体表現	丸める・巻く・ねじる・ひねる 結ぶ・編む・三つ編・重ねる
	かぶせる・包む・詰め込む
半立体表現	小くらます・つぶす・止める 差し込む
	折る・ジャバラ折り・たたむ 紙バネ折り
平面表現	ちぎる・裂く・破る・ 切り目を入れる・切りぬく 穴をあける・貼る

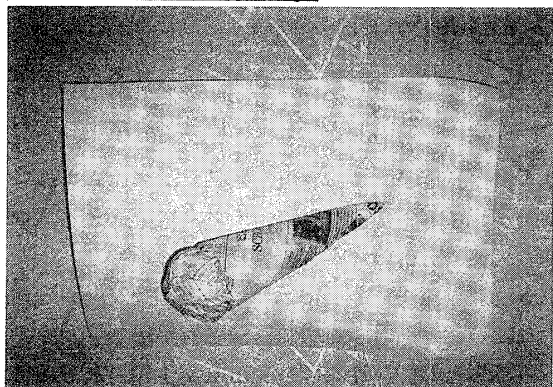
注) 日本保育学会第52回大会研究論文集 P.41 刊

・立体表現は15種の表現技法、半立体表現は4種の表現技法、平面表現は7種の表現技法にわけた。

- (2) 表-Iに示した表現形態の分類をもとに、過去3年間の学生の表現された結果は、表-IIに示す通りである。表-II

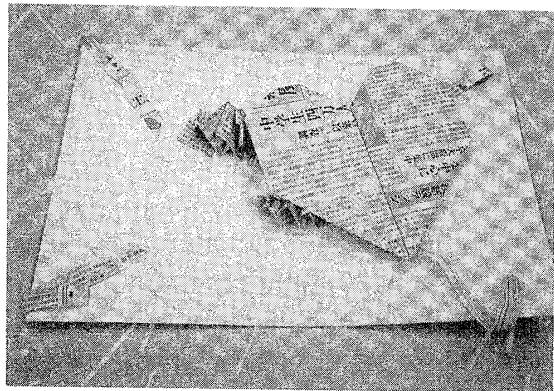
表現形態	1997年		1998年		1999年	
	人	%	人	%	人	%
立体表現	78	98.7	70	90.9	46	63.9
半立体表現	0	0	2	2.6	21	29.2
平面表現	1	1.3	5	6.5	5	6.9
合計	79	100	77	100	72	100

写真① 立体表現の例



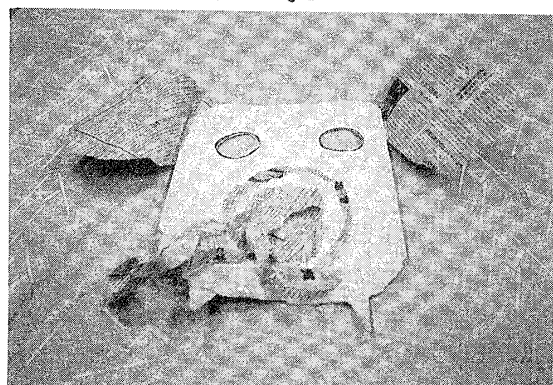
写真① 立体表現の例は、“丸める”、“巻く”、“包む”、“差し込む”、“貼る”という技法で表現されている。

写真② 半立体表現の例



写真② 半立体表現の例は、“折る”、“紙バネ折る”と“ちぎる”技法で表現されている。

写真③ 平面表現の例



写真③ 平面表現の例は、“ちぎる”、“切りぬく”、“貼る”という技法で表現されている。

◎表-Ⅱに示された表現形態について

- ・立体表現は、97年、98年共に90%以上であるが99年は、63.9%となった。
- ・半立体表現は、97年は、全くみられないが98年はわずか2.6%、99年は、29.2%と急に多くなっている。
- ・平面表現は、97年は、わずか1.3%(1名のみ)であるが、98年、99年共に6%台になっている。

◎ 97年、98年と実施方法はかわっていない。99年は、学生が楽しんで表現している途中で、“学生が示した技法について”のプリントを配付した。このプリントには、26種類の技法の説明があるので、自分では表現しなかった技法に気付く。例えば、“ジャバラ折る”、“紙バネ折る”などの表現がされたのではないかと考えられる。第51回大会で、造形技法の種類とその出現率で示されている様に、かなりのばらつきが、97年には見られた。

4. まとめ

この度は、造形技法とあらかじめ知った上での表現活動とのちがいがあるのではないかと考察したが、直接学生に質問したのではないので、はっきりと、影響があったのかどうかはわからない。

その際のクラスのメンバーによって、お互いに影響しあって表現を楽しんだことは、達成できたと感じられる。

造形活動と聞くと、すぐに何かをつくるという活動を思い浮かべてしまいがちである。

この新聞紙を用いた造形活動は、しんぶんを読んでみたり、しんぶんを踵にかぶって、お互いに見せあったり、音を楽しんだり、ゴワゴワ、ガサゴソ、バリバリ、とやぶくこと、さくこと、ちぎることなど、こわすということにより、ストレスを発散させ、いろいろと手で紙をいじっている間に、何かが生まれて来る。表現技法を知らなくても、いろいろな考えや思いを表現して、楽しむことが出来た。

子どもとともに、おもしろがって、共感し、お互いに認めている保育者をおめあして楽しいという願いからこの活動をとり入れている。